



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



長野駅 東口 東口界隈の変貌

「清泉女学院大学 看護学部」①が開校、「長野駅東口公園」②もオープン、周辺の道路整備も進み東口界隈は変貌を遂げています。

40年ほど前の東口【左下写真】はちっぽけな場末の駅の風情。改札を通り善光寺口へと通じる跨線橋からは、重厚な赤煉瓦造りの旧国鉄長野工場も見えました。

D51型蒸気機関車がここで製造されていたのは80年前のこと。もはや夢物語です。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート 外国人雇用 ③ 6
- 地域活性化に向けた取組 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (58) 御開帳でにぎわう善光寺境内 ... 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



長野信用金庫

概況 全産業

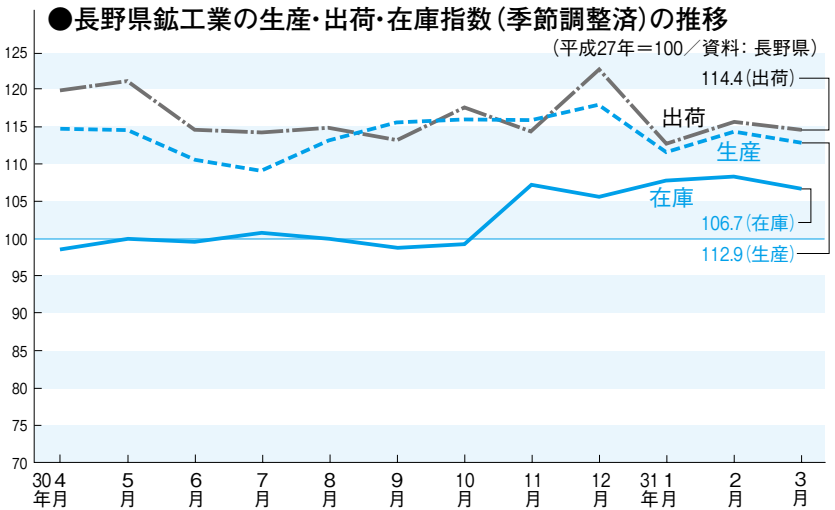
生産は2カ月ぶりの低下 前年同月比は3カ月連続の低下

◇2019年3月の長野県鉱工業指数 (速報：季節調整済指数)

生産は112.9(前月比▲1.1%)で
2カ月ぶりの低下、出荷は114.4
(同▲1.9%)で2カ月ぶりの低下、
在庫は106.7(同▲1.4%)で3カ月
ぶりの低下となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は118.1(前年同月比▲3.9
)で3カ月連続の低下、出荷
は123.3(同▲4.6%)で3カ月連
続の低下、在庫は100.6(同+1.6
)で3カ月連続の上昇となり
ました。



- [生産] 上昇…木材・木製品、輸送機械、その他など7業種
低下…電気機械、電子部品・デバイス、食料品など10業種
- [出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、その他、輸送機械など6業種
低下…電子部品・デバイス、化学、情報通信機械など11業種
- [在庫] 上昇…情報通信機械、電子部品・デバイス、プラスチック製品など6業種
低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、その他など10業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2019年4月

◇5月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業を除く)の売上高前年比
「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(39%)

が7ポイント増加、「減少」割合(25%)が5ポイント減少、「不
変」割合(37%)が2ポイント減少、全体としては増加の
状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比
(3ポイント以上の動き)

↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
↖ 改善 ⇄ 不変 ↙ 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	前回調査比 (3ポイント以上の動き)	回収率	30人未満	30人以上
	増加	不変	減少	増加				
前 回	32.2	38.4	29.4			213社(回収率87.7%)	73.7%	26.3%
今 回	39.0	36.5	24.5			200社(回収率83.0%)	74.0%	26.0%
製造業	36.9	38.5	24.6			65社(回収率76.5%)	61.5%	38.5%
建設業	38.5	38.4	23.1			65社(回収率91.5%)	87.7%	12.3%
卸小売業	37.8	35.5	26.7			45社(回収率81.8%)	84.4%	15.6%
サービス業	25.0	37.5	37.5			8社(回収率88.9%)	75.0%	25.0%
輸送業	62.5	25.0	12.5			8社(回収率80.0%)	12.5%	87.5%
外食業	55.6	22.2	22.2			9社(回収率81.8%)	66.7%	33.3%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品・一般機械が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(37%)が8ポイント増加、「減少」割合(25%)が1ポイント減少、「不変」割合(39%)が7ポイント減少し、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	29.1	45.6	25.3
	今回	増加 36.9	不変 38.5	減少 24.6
食料品		33.3	44.5	22.2
金属加工		38.5	38.4	23.1
一般機械		12.5	75.0	12.5
電気機械		40.0	60.0	0.0
自動車部品		50.0	0.0	50.0
精密機械		60.0	0.0	40.0

【業種別】増加…金属加工・電気機械・自動車部品・精密機械

減少…食料品・一般機械

【機械稼働】(前回比)稼働率 横ばい

上昇割合 (23%) → 25%

下降割合 (15%) → 15%

【受注状況】受注量(前回比) 横ばい

増加割合 (23%) → 17%

減少割合 (19%) → 15%

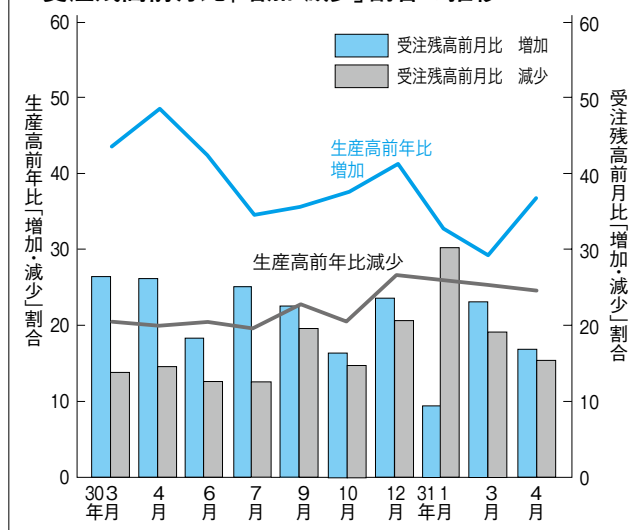
受注残高(1.6カ月) → 1.4カ月

【受注基調】(前回比) 下降

上昇割合 (22%) → 20%

下降割合 (17%) → 19%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

★受注は回復傾向にあるが、原材料価格の高止まりで収益面が厳しくなっている。(そば粉製造)

★半導体検査装置の仕事が止まってしまった。見通しがつかない状況。(工作機械製造)

★最近、成形機の受注が減少し続けている。先行きが見えにくい。(産業機械)

☆眼科医療は、受注が増加傾向にある。(眼科検査機)

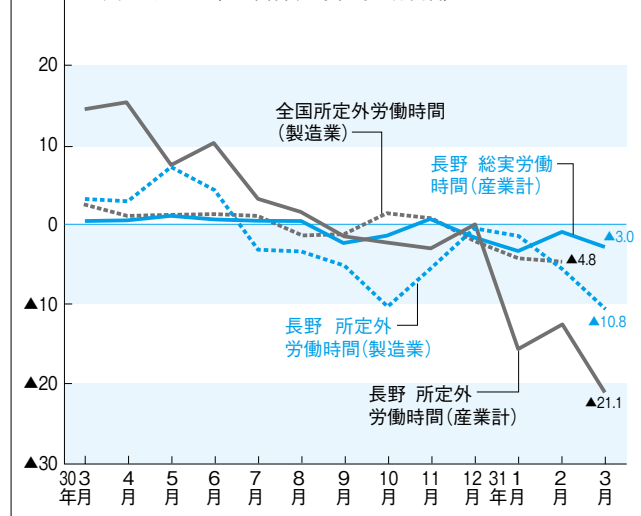
★原料価格上昇に伴い、販売価格の値上げラッシュになっている。消費税増税も近づいており、影響があると思う。(なめ茸製造)

★電子部品は、車載向け以外は極めて低調な状況にある。(電子部品製造)

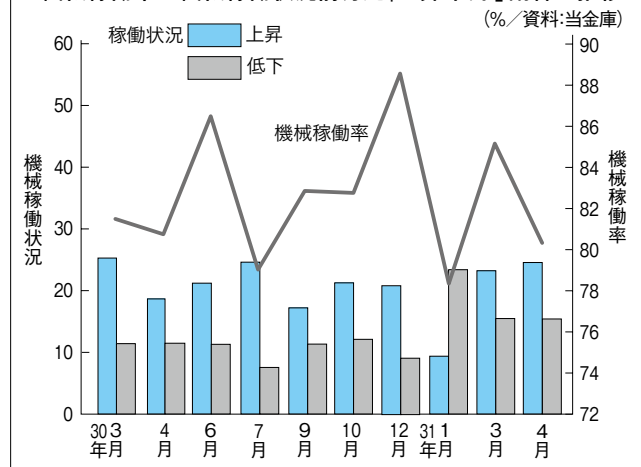
☆★大型連休明け後も順調に推移している。今後も夏の天候次第で大きく左右するだろう。(乾麺製造)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」土木工事・各種設備が増加するも、全体は横ばい

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(39%)が6ポイント減少、「減少」割合(23%)が6ポイント減少、「不変」割合(38%)が11ポイント増加し、全体としては増加の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	44.1	27.1	28.8
	今回	増加 38.5	不変 38.4	減少 23.1
総合建設業		45.5	18.1	36.4
土木工事業		46.2	38.4	15.4
建築業		31.8	40.9	27.3
各種設備業		36.4	63.6	0.0

【業種別】 増加…土木工事・各種設備

減少…総合建設・建築

【受注状況】 受注残高(前回比) 横ばい

「多い・適正」割合 (66%) → 66%

「少ない」割合 (35%) → 34%

4月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4月の発注合計は、255.0億円(前年同期比▲1.7%)となりました。前年比プラスは「県」の81億円(同+43.4%)、「そのほか」の46.5億円(同+3.0%)で、マイナスは「国」の38.6億円(同▲14.6%)、「市町村」の89.0億円(同▲20.9%)です。

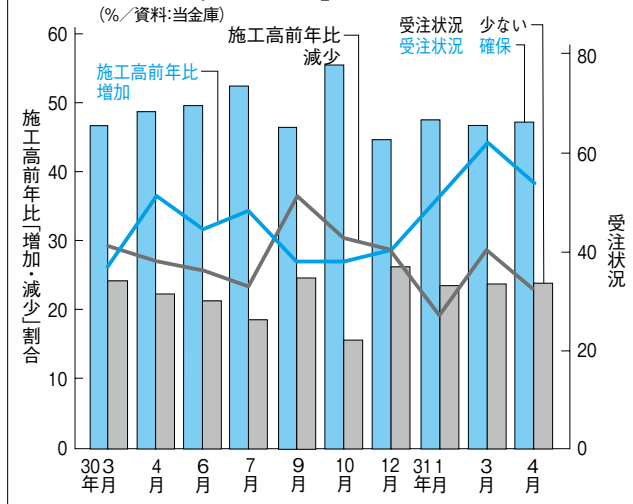
北信地区市町村の発注合計は26.4億円(同▲63.9%)で、うち長野市は20.5億円(同▲366.9%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2019年4月)

(単位=百万円/資料: 東日本建設業保証株)

		2019年4月	前年同期比
長野県	国	3,860	▲14.6%
	県	8,091	43.4%
	市町村	8,900	▲20.9%
	そのほか	4,651	3.0%
	合計	25,502	▲1.7%
北信地区	市町村	2,643	▲63.9%
	(内長野市)	2,047	366.9%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

★建築物件の情報収集とリニューアルおよび改修工事を含め、積極的に営業展開を図りたい。

☆増税前の影響から建築案件は少しずつ増えている。外構やリフォームも同様。また公共工事は建築が出てきている。(以上総合建設)

★ハイテンションボルトの生産が間に合わず、いまだ品不足状態が続いている。(鉄筋工事)

4月の新設住宅着工戸数

長野県の4月の新設住宅着工戸数は1,303戸(前年同月比+20.5%)でした。持家が717戸(同+22.1%)、貸家が292戸(同▲12.0%)、分譲が292戸(同+80.2%)、給与が2戸(同—%)です。

北信地区の4月の新設住宅着工戸数は243戸(同▲38.0%)でした。持家が179戸(同▲1.1%)、貸家が29戸(同▲79.0%)、分譲が35戸(同▲52.1%)、給与が0戸(同—%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数(2019年4月)

(資料: 長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	4月	179戸	29戸	35戸	0戸	243戸
	(内長野市)	100戸	24戸	20戸	0戸	144戸
	前年同月比	▲1.1%	▲79.0%	▲52.1%	—	▲38.0%
	(内長野市)	6.4%	▲81.7%	▲66.7%	—	▲49.5%
	4月	717戸	292戸	292戸	2戸	1,303戸
長野県	前年同月比	22.1%	▲12.0%	80.2%	—	20.5%

卸小売業

卸売業、小売業

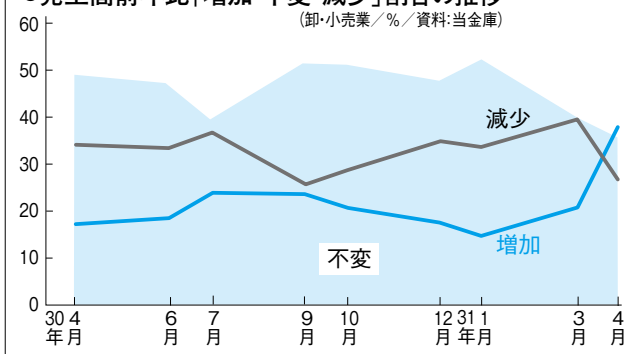
「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(38%)が17ポイント増加、「減少」割合(27%)が13ポイント減少、「不変」割合(36%)が4ポイント減少し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	20.8	39.6	39.6
	今回	増加 37.8	不変 35.5	減少 26.7
卸売業		31.6	26.3	42.1
小売業		42.3	42.3	15.4

●売上高前年比「増加・不変・減少」割合の推移 (卸・小売業/ % / 資料: 当金庫)



【業種別】 増加…卸売業・小売業

4月の消費者物価指数(長野市) 平成27年基準=100

◇総合指数(確報値)……102.7 (31カ月連続のプラス)

(前月比+0.5%、前年同月比+1.2%)

上昇…「被服及び履物」「教養娯楽」「住居」「総合」

下落…「保険医療」「家具・家事用品」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.6 (28カ月連続のプラス)

(前月比+0.5%、前年同月比+1.4%)

企業からのコメント

- ☆★働き方改革のためか理由は定かではないが、夜の時間帯の電話注文が減ってきた。(建設資材卸売)
- ☆4～5月の大型連休は、天候にも恵まれ、例年以上の売上があった。(土産品小売)
- ★同業者との価格競争により、利益率が低くなってきている。(建設資材卸売)
- ★10月実施予定の消費税増税の前に、車輛を購入する顧客はあまり見当たらない。(自動車小売)
- ★輸入に関連して、米中の貿易摩擦問題で為替相場の変動が激しすぎて困る。(健康食品卸)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送は増加、外食は減少

サービス業 売上高前年比「増加」割合は25ポイント増加の25%、「減少」割合は3ポイント減少の38%、「不変」割合は23ポイント減少の38%と、売上は増加しています。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は23ポイント増加の63%、「減少」割合は18ポイント減少の13%、「不変」割合は5ポイント減少の25%と、売上は増加の状況です。運送は増加、タクシーは横ばいです。

外食業 売上高前年比「増加」割合は6ポイント増加の56%、「減少」割合は12ポイント増加の22%、「不変」割合は18ポイント減少の22%と、売上は減少しています。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比12ポイントの減少、前年同月比は45ポイント増加で、宿泊利用は回復の状況です。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は16ポイント減少の30%、「引合いやや増加」は16ポイント減少の30%でした。

企業からのコメント

- ★10連休中は、長野・須坂地区の病院が軒並みに休みとなったために売上が減少した。(タクシー)
- ★外国人顧客の要望を考えると、キャッシュレス化は必要。しかし、観光地のエリアをカバーする統一方法が課題となる。
- ☆働き方改革により、営業時間を短縮。客数は減少したが、魅力ある内容にして客単価を増加させ順調に推移。従業員福祉にも貢献している。(以上飲食業)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	0.0	60.0	40.0
	今回	増加 25.0	不変 37.5	減少 37.5
輸送業	前回	40.0	30.0	30.0
	今回	62.5	25.0	12.5
うちタクシー業		66.7	0.0	33.3
うち運送業		60.0	40.0	0.0
外食業	前回	50.0	40.0	10.0
	今回	55.6	22.2	22.2

●雇用して良かった点 「**人員を確保できた**」70% 「**真面目に仕事に取り組む**」52%

●今後の採用計画 「**増やしたい**」7% 「**現状維持**」11%

外国人雇用で良かった点 70%の企業が「人員を確保できた」、50%強の企業は、外国人は「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」と答えています。

外国人雇用の採用計画 「増やしたい」「現状維持」を合わせて18%、「採用予定なし」は75%となっています。

組む」(52%)、「高度な技術を持っており、優秀である」(9%)、「外国語の対応が可能になった」(9%)でした。

従業員規模で比べると、30人未満では「人員を確保できた」(73%)が30人以上より6ポイント高く、30人以上では「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」が30人未満より30ポイント高くなっています。

外国人雇用で良かった点

30人未満「**人材を確保できた**」73%

30人以上「**真面目に仕事に取り組む**」67%

「外国人労働者を雇用して良かった点」を聞きました。

最も高いのは7割を占める「人員を確保できた」(70%)で、次に「真面目で一生懸命、仕事に取り

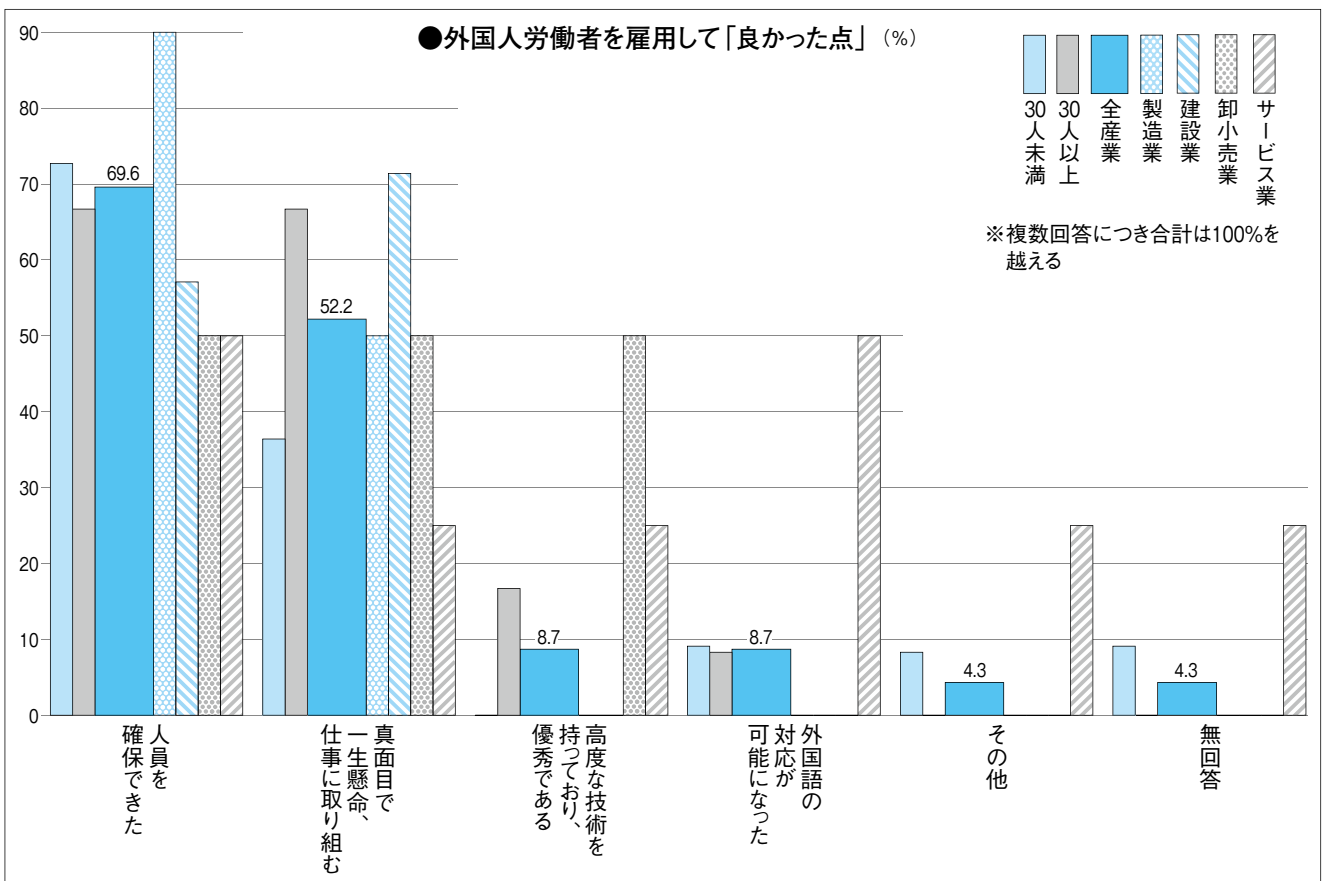
業種別

製造「**人員を確保できた**」90%

建設「**真面目に仕事に取り組む**」71%

サービス「**外国語対応が可能に**」50%

製造業 「人員を確保できた」(90%)と「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」(50%)の2項目のみで、他はすべて0%でした。「人材を確保できた」は他業種に比べ最も高くなっています。



建設業 「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」(71%)と「人員を確保できた」(57%)の2項目で、他は0%でした。「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」は他業種に比べ最も高くなっています。

卸小売業 「人員を確保できた」「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」「高度な技術を持っており、優秀である」の3項目はそれぞれ50%で、他は0%でした。「高度な技術を持っており、優秀である」は他業種に比べ最も高くなっています。

サービス業 「人員を確保できた」と「外国語対応が可能になった」がそれぞれ50%、「真面目で一生懸命、仕事に取り組む」と「その他」がそれぞれ25%と幅広くなりました。「その他」は他業種に比べ最も高くなっています。

外国人雇用の採用計画

「増やしたい」7%

「現状維持」11%

「採用予定なし」75%

「外国人雇用の採用計画」を聞きました。

「増やしたい」(7%)に対して、「採用予定なし」が75%、「現状維持」が11%、「減らしたい」は0%

でした。

従業員規模で比べると、30人未満では「採用予定なし」が30人以上より19%高く、30人以上では「増やしたい」が9%、「現状維持」が8%、30人未満より高くなっています。

業種別

製造「採用予定なし」71%

建設「増やしたい」10%

卸小売「採用予定なし」89%

サービス「採用予定なし」72%

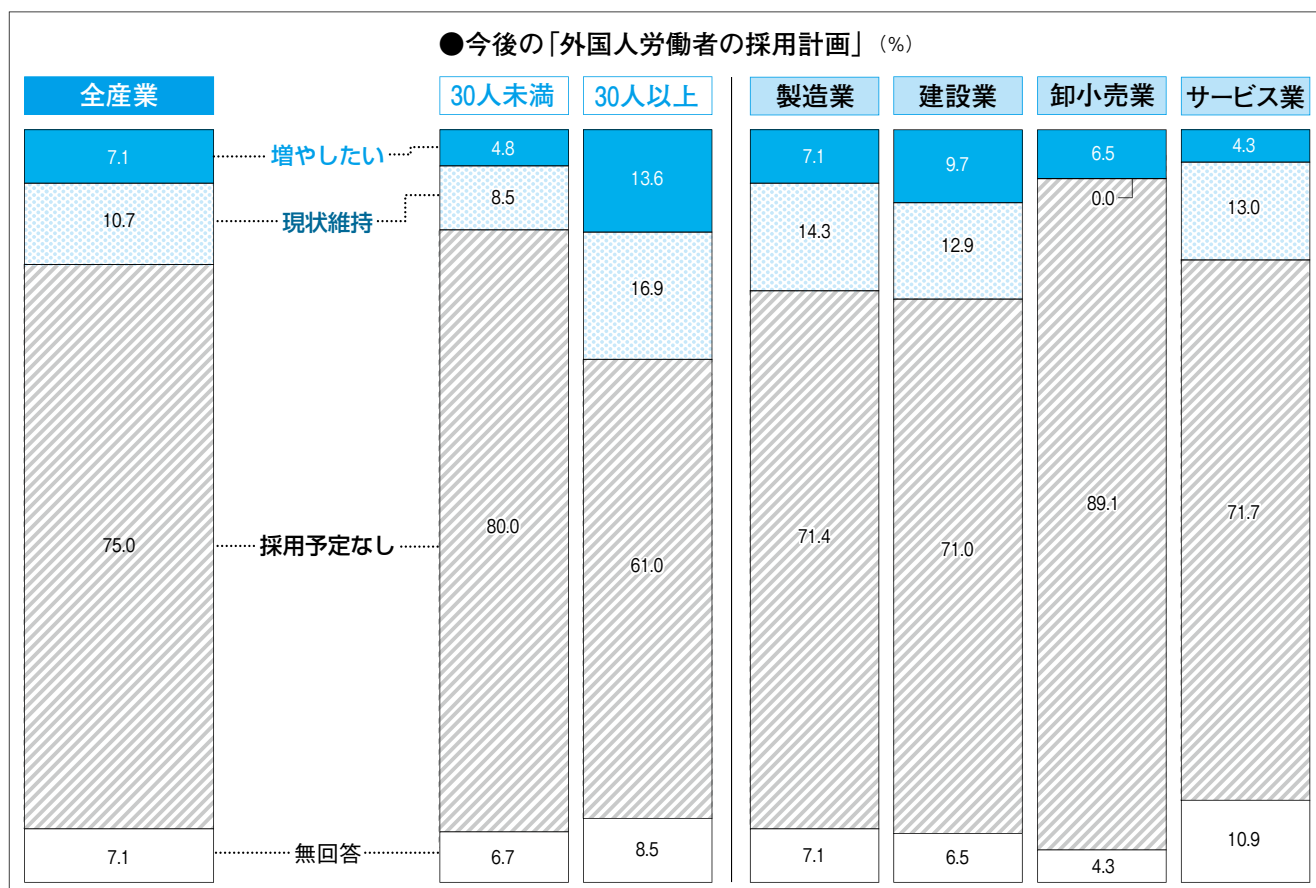
製造業 「現状維持」(14%)が他業種に比べ最も高くなりました。

建設業 「増やしたい」(10%)が他業種に比べ最も高くなりました。

卸小売業 「採用予定なし」(89%)が他業種に比べ最も高くなりました。「現状維持」(0%)は他業種に比べ最も低く、「増やしたい」は7%でした。

サービス業 「増やしたい」(4%)は他業種に比べ最も低くなっています。

◇次号は「人手不足」を予定



地域活性化に向け、連携協定を締結！

長野信用金庫では地域活性化を目的とした連携協定を新たに11市町村と締結し、令和元年5月には学校法人清泉女学院と包括連携協定を締結しました。



●地方創生に関する連携協定

当金庫では、平成31年2月から平成31年3月にかけて、地域活性化に関する連携協定を11市町村と新たに締結いたしました。

当金庫は、過去に締結した同様の連携協定を含め、北信地域14市町村と地方創生に関する連携協定を締結しております。

本連携協定における連携事項として、各市町村が課題としてあげる創業、事業承継、6次産業化などの地域のにぎわいや事業創出に関する支援、空き家の有効活用の促進に関する支援などが盛り込まれています。

今後、当金庫と連携した14市町村で定期的に行われる「地方創生連絡会議」を通じ地域の課題解決に対して共に取り組んでまいります。

地方創生に関する連携協定に基づいた取組

●長野しんきん「しんみせ」応援プロジェクト

当金庫では、昨年4月より長野しんきん「しん

みせ」応援プロジェクトを開始しました。

第2回目の開催となる今年度は、地方創生に関する連携協定を結んでいる14市町村に対象地域を拡大し、募集を行いました。

当プロジェクトの一環として、6月から9月にかけて、創業から創業後までの必要な知識を学ぶ「長野しんきん創業カレッジ」が開講されます。



●キャッシュレス決済推進セミナー

当金庫では6月～7月にかけて連携協定を締結している14市町村との共催・後援事業として千曲市・中野市・須坂市・飯山市・長野市の5会場で「中小・小規模事業者さま向けキャッシュレス決済推進セミナー」を開催しています。

●第1回 地方創生に関する連絡会議

令和元年5月24日に当金庫にて「第1回地方創生連絡会議」が実施されました。各市町村が取り組んでいるにぎわい創出のための創業支援に関する取り組みや、創業後のフォローアップの課題などについて意見交換が交わされました。

●今後の展開

地方創生連絡会議をプラットフォーム化し、ハブ機能を高め、14市町村と当金庫が一体となって新たな連携事業に取り組んでまいります。



教育を通して地域貢献 を実践する

清泉女学院大学
人間学部 文化学科
講師 川北 泰伸さま

令和元年5月21日、学校法人清泉女学院と長野信用金庫は、地域産業・観光の振興、教育研究の充実および人材の育成を通し、地域の発展に寄与することを目的として、包括連携協定を締結しました。

そこで、清泉女学院と当金庫における今後の連携の展開について、人間学部文化学科の川北講師（専門：公共政策）にお話を伺いました。

◎清泉女学院ではどのように地域と連携 しているのでしょうか。

清泉には地域との窓口として地域連携センターがあり、清泉と地域をコーディネートする役割を担っています。地域との関わり方は二つあります。一つめは、清泉に蓄積された知的資源を地域に還元することです。清泉で培われた専門性を、地域における生涯学習や課題解決へ貢献することを目指しています。二つめは、教育活動を通じた連携です。今日の高等教育では、理論と実践の両輪が重要になっています。そこで、現実の地域課題を教材にしながら、専門性を生かして課題解決の方策を議論したり、実際に地域と連携してプロジェクトを企画・実践することもあります。このように、教育を通して地域貢献できる人物の養成を目指しています。

◎例えば、人間学部文化学科ではどのような 取り組みをしているのでしょうか？

文化学科では、文化を見直し、プロデュースすることを目指しています。地域団体や行政と連携しながら、例えば、「びんずる市への出展」「長野市と連携した公共施設マネジメントゲームの開発」「NAGANO DESIGN WEEKへの参加」などのプロ

ジェクトに学生は積極的に参加しています。どのプロジェクトも学生一人の能力では達成できない難しさがあります。そこで、能力の異なる学生を集めたり、様々な人の協力を得るための工夫が成功の鍵となります。

◎確かに難易度が高そうなプロジェクトですね。

単独で実行するのではなく、成果を得るために必要な協力者をどうやって集めるのか、賛同を得た協力者をいかにマネジメントしていくか、これらの能力を身につけることが文化学科のスタンスですね。

◎今回の連携協定に期待することはありますか。

文化学科では、「文化とは人々の営み全て」と定義しています。よって、民間企業の取組み（営み）も文化ととらえており、今回の包括協定締結は、大きな可能性を感じています。私の場合は、マーケティングや地域産業の授業を担当します。長野信金さんとの連携を生かして、例えば、長野信金さんの「しんみせ応援プロジェクトへの参画」、「ビジネスフェアの企画・運営」などに、学生を参加させて、社会のリアルな現場を学び、実践的な授業に変えていきたいですね。また、そのような企画について、我々だけではなく、地域や行政も巻き込んで協働しながら検討できればいいですね。

【学校法人清泉女学院との連携事項 抜粋】

- (1) 地域産業・観光の振興および地域づくりに関すること
- (2) 産学連携に関すること
- (3) 地域文化および伝統行事などの振興ならびに地域活性化の推進に関すること
- (4) 生涯学習の推進に関すること
- (5) 施設などの利用に関すること

●長野信用金庫：地域みらい応援部
丸山 Tel 026-228-0221 (代)

北信濃 江戸時代の風景

(58) 御開帳でにぎわう善光寺境内

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



御開帳中に起こった善光寺地震

本年度は、弘化4年(1847)に起こった善光寺地震を記録した『地震後世俗語之種』(国立国会図書館蔵)の挿絵を用いています。善光寺地震の起こった3月24日は、善光寺の御開帳の最中でした。現在の御開帳は4月から5月にかけて行われますが、江戸時代は3月から4月にかけて行うのが普通でした。これは暦が太陰暦から太陽暦に変わったためで、御開帳の時期は昔からほとんど変化していません。善光寺地震の起こった弘化4年3月34日(旧暦)は、現在の暦で5月8日に当たります。

御開帳のにぎわい

下の絵は、善光寺地震が起こる直前の、御開帳でにぎわう善光寺境内を描いたものです。右上に「山門」があり、左下に「仁王門」があります。善光寺地震の際、山門は無事でしたが、仁王門は焼失

してしまいました。

右下には「御開帳盛んにして御山内繁昌の図」と書いてあります。「山内」は境内のことで、「繁昌」は繁盛と同じで、にぎわっていることです。この絵は「(46) 善光寺の仲見世(続)」にも参考として掲載しましたが、今回はこの絵を詳細に見ていきましょう。

仲見世の歴史

仁王門から山門に続く石畳の途中までが、現在の仲見世です。石畳の両側に建物(店)や小屋掛け(芝居小屋など)がなかったとすると、ここは広大な広場です。この広場は堂庭と呼ばれ、現在の本堂が宝永4年(1707)に現在地に建てられるまで、善光寺の本堂はここにありました。絵の中央左の石畳沿いに石灯籠があり、その左に小さな建物が描かれています。ここは善光寺の本堂があった時代に本尊がまつられていた神聖な場所で、延命地

(左下の図)「御開帳盛んにして御山内繁昌の図」(国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より)



蔵尊がまつられています。建物はありませんが現在も仲見世の途中に銅造の延命地藏尊がまつられ、「堂跡地藏尊」と呼ばれています。

堂庭には西側に熊野社が、東側に諏訪社がまつられていました。絵では仁王門の上部に松らしき木があり、その下に熊野社が描かれています。諏訪社は、中央下の木の下にあります。両社は現在は合祀され、元善町の産土神として、宿坊最勝院

の薬師堂（須磨薬師）の向かい側にまつられています。

芝居小屋

この堂庭では本格的な建築物が禁止されており、仮設店舗のようなものしか許可されませんでした。この絵でも、石畳の両側にそうした簡易な店舗が建ち並んでいます。そのため店舗の裏側は広く空いており、御開帳などではそこに芝居小屋・見世物小屋などが建ち並びました。この絵にはそうしたむしろを張った小屋がたくさん描かれています。左側（西側）の芝居小屋の北側には、やぐらの上でパフォーマンスをする人と、それを取り巻いて見物する人々がいます。

もっともこうした芝居小屋は御開帳に限らず日頃からあったらしく、十返舎一九著の『続膝栗毛』には、弥次郎兵衛と喜多八が善光寺に招かれて行く役者と称し、失敗する話があります。

こうした伝統により明治6年(1873)に、現在の善光寺事務局付近に常設の劇場常盤井座が開業しました。その盛況ぶりは明治11年に出版された『善光寺繁昌記』に詳しく記されています。

回向柱

近年の御開帳では、本堂前の回向柱に触れようとする人々が、山門を抜けて仲見世まで大行列を



(右上の図) 善光寺本堂前の回向柱（国立国会図書館蔵『地震後世俗語之種』より）

作ります。ところがこの絵では、そうした行列は見られません。右上はこの『地震後世俗語之種』の、善光寺本堂前の回向柱周辺を描いた絵です。回向柱の側面の文字を読もうとしていると思われる人物や、振り返って回向柱を見ているような人物がいますが、他の人々は回向柱に関心がないようです。もちろん回向柱に触れようとする人は1人もいません。開帳されている前立本尊を拝むことよりも、回向柱に触れることを重視するようになったのは、近年の善光寺御開帳の特徴です。

左下の絵には、右端の中段にも回向柱が描かれています。周囲には吹き流しが風に舞っています。左手の石畳側にその入口があって、屋根の下に3つの提灯が見えます。

現在の仲見世の北側は、駒返り橋通りと交差しています。その交差点にこの提灯が掲げられているのです。別の絵によれば、この3つの提灯には「常」「念」「仏」と書かれています。駒返り橋通りの東の端には現在は城山小学校がありますが、江戸時代は常念仏堂がありました。弘化4年の御開帳は、そこで行われていた常念仏が6万5千日に達した記念という意味があったのです。

7月号は「城山」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

●外国人と一緒に暮らす地域社会

「外国の言葉・文化を知る機会が増える」47%

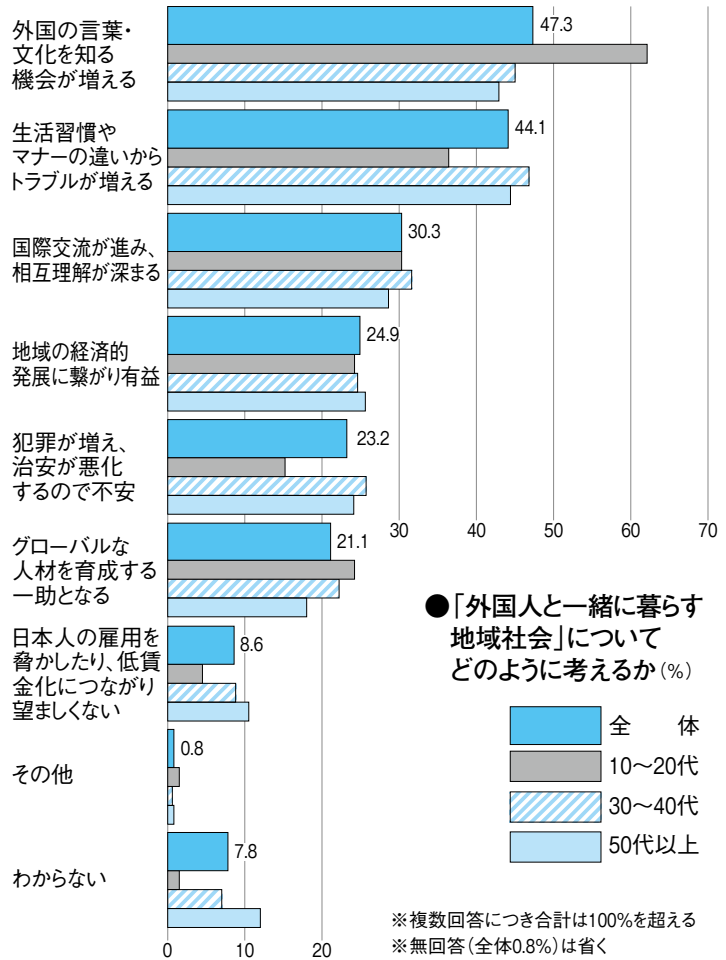
「生活習慣やマナーの違いからトラブルが増える」44%

「外国人と一緒に暮らす地域社会についてどのように考えるか」を聞きました。

1～3位は「外国の言葉・文化を知る機会が増える」「生活習慣やマナーの違いからトラブルが増える」「国際交流が進み、相互理解が深まる」が40%台～30%台となり、4～6位は「地域の経済的發展に繋がり有益」「犯罪が増え治安が悪化するので不安」「グローバルな人材を育成する一助となる」が20%台となりました。

世代別では、10～20代で「外国の言葉・文化を知る機会が増える」(62%)、30～40代で「生活習慣やマナーの違いからトラブルが増える」(47%)が、男女別では、女性で「外国の言葉・文化を知る機会が増える」(59%)、男性で「生活習慣やマナーの違いからトラブルが増える」(45%)が高率になっています。

〈当金庫・2019年3月調査〉



●みなさまの経営相談のご案内 [7月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
7月 2日 火	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	7月 17日 水	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
4日 木	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	19日 金	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
8日 月	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	23日 火	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
9日 火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	24日 水	本店営業部	
11日 木	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	26日 金	本部	
12日 金	大豆島支店 (長池支店)		29日 月	本部	

●7月の「しんきん事業相談会」は7月3日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

